



官民合同会議 2022年3月



ブラジル日本商工会議所
会頭 村田俊典

目次

1) 2021年商工会議所活動総括

2) ブラジル経済環境

3) 各種業界の動向や特徴

自動車部会、運輸サービス部会、機械・金属部会、電機・通信情報部会、
生活産業部会、食品部会、化学品部会

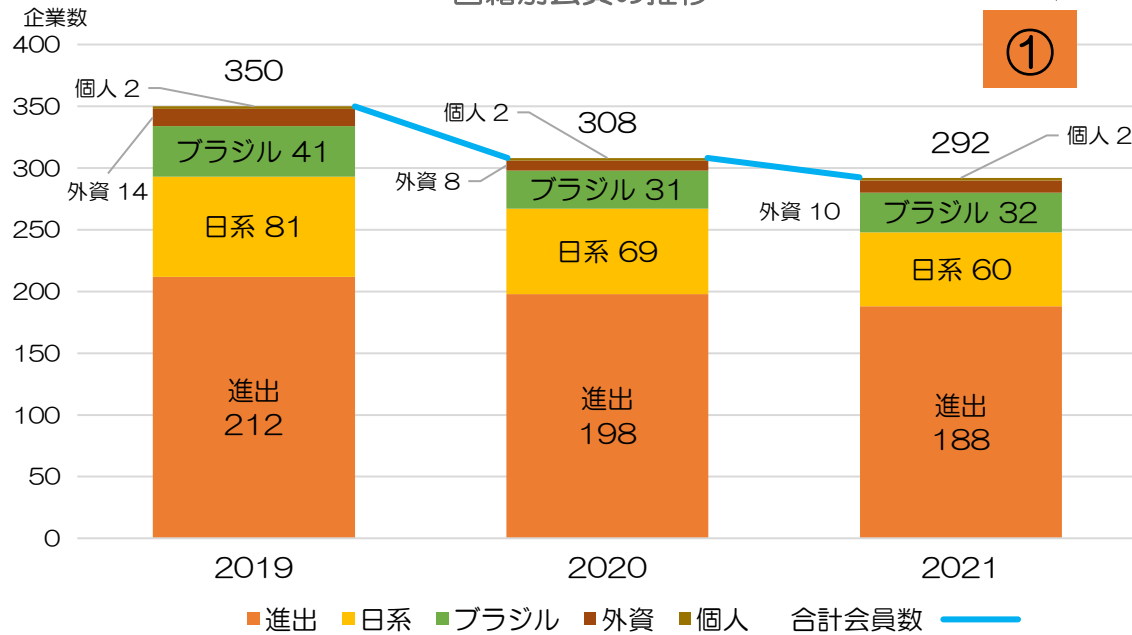
4) 取り巻く環境（業界別データ）

1) 2021年商工会議所活動総括

【総括】

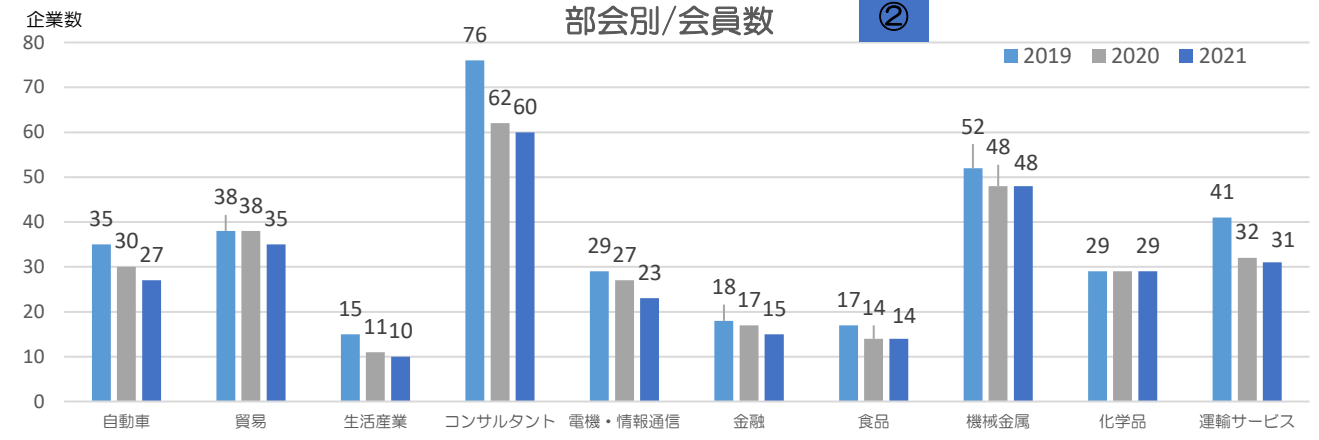
- コロナ禍によりここ2年間の会員数は激減、オミクロン変異株が感染拡大、会員減少に未だ歯止めが掛っていない。
全会員 : 21年(292社)は19年(350社)比58社減(0.83)、うち
進出企業: 21年(188社)は19年(212社)比24社減(0.89)
- 20年3月パンデミック宣言後、会議所活動は即座にオンラインイベントや情報提供セミナーにシフト。20年は19年実績を維持できたが、21年(134)は19年(195)比61イベント減(0.69)
- 訪問数は激減したが、対面やハイブリッド形式で、ニューノーマル態勢に適応。
21年(76)は19年(136)比訪問数60回減(0.56)
- 21年のHPアクセスビュー数は6月18日迄の旧サイト分のみ16万回、新サイト(WP)分はカウント不明(通年のアクセス数4~50万回/年、日本からだけで全体の80%)

国籍別会員の推移

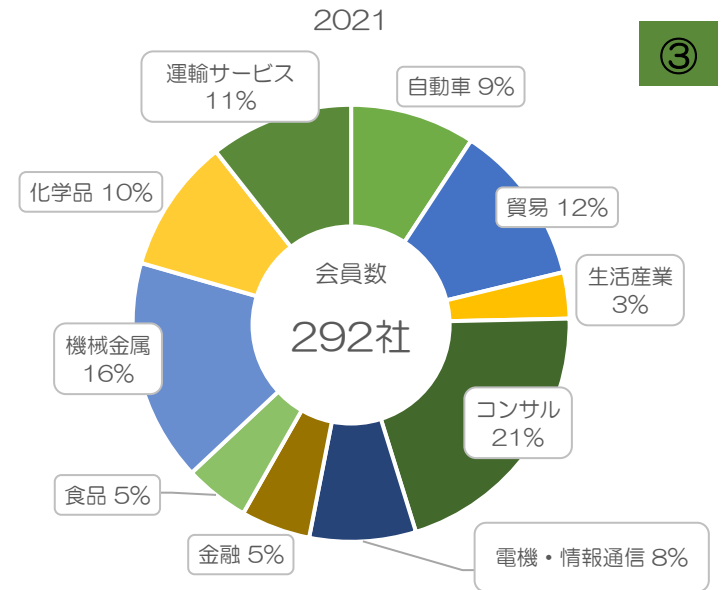
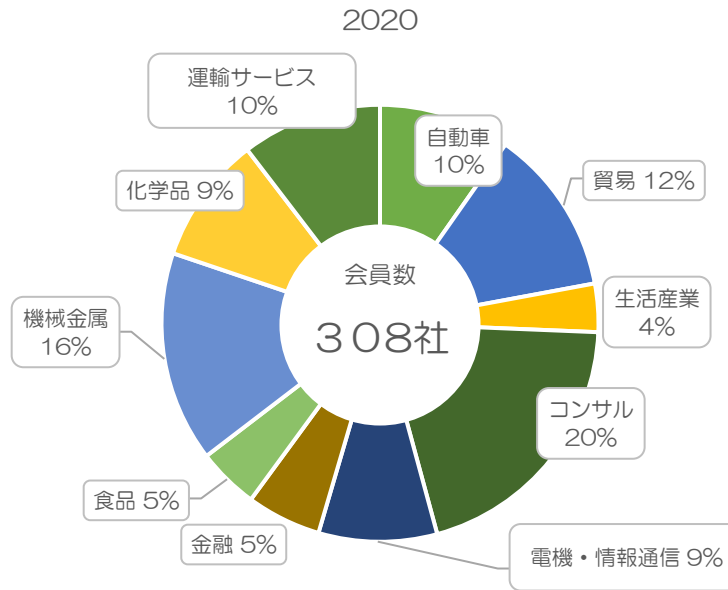
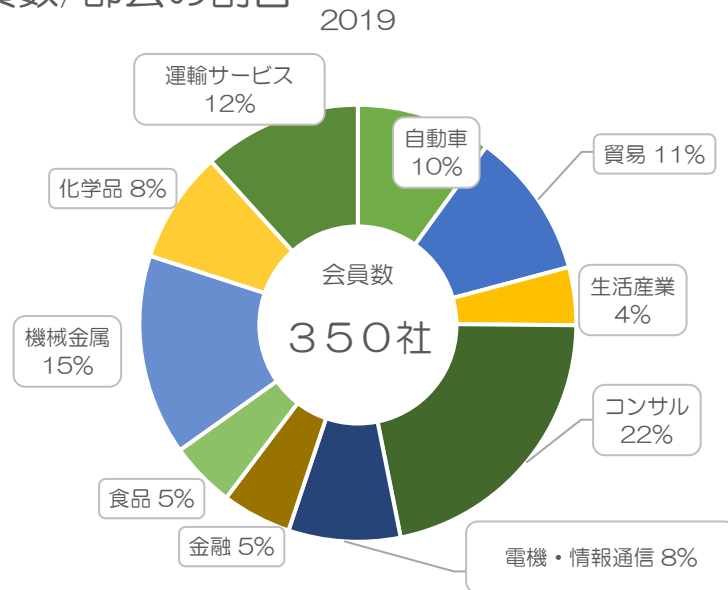


- ① 左上のグラフ 国籍別会員（グラフも国籍別会員に修正のこと）の推移として19年の350社（者）から20年に308社（者）、21年末には292社（者）に激減。年初に底打ち感が見られるものの、10月の大統領選や今起きているウクライナ危機で不透明感が増加
- ② 右上のグラフ 部会別/会員数では化学品を除いて、19年比すべて減少。
- ③ 下の円グラフ 会員数/部会の割合は19年以降ほぼ同じ。

部会別/会員数

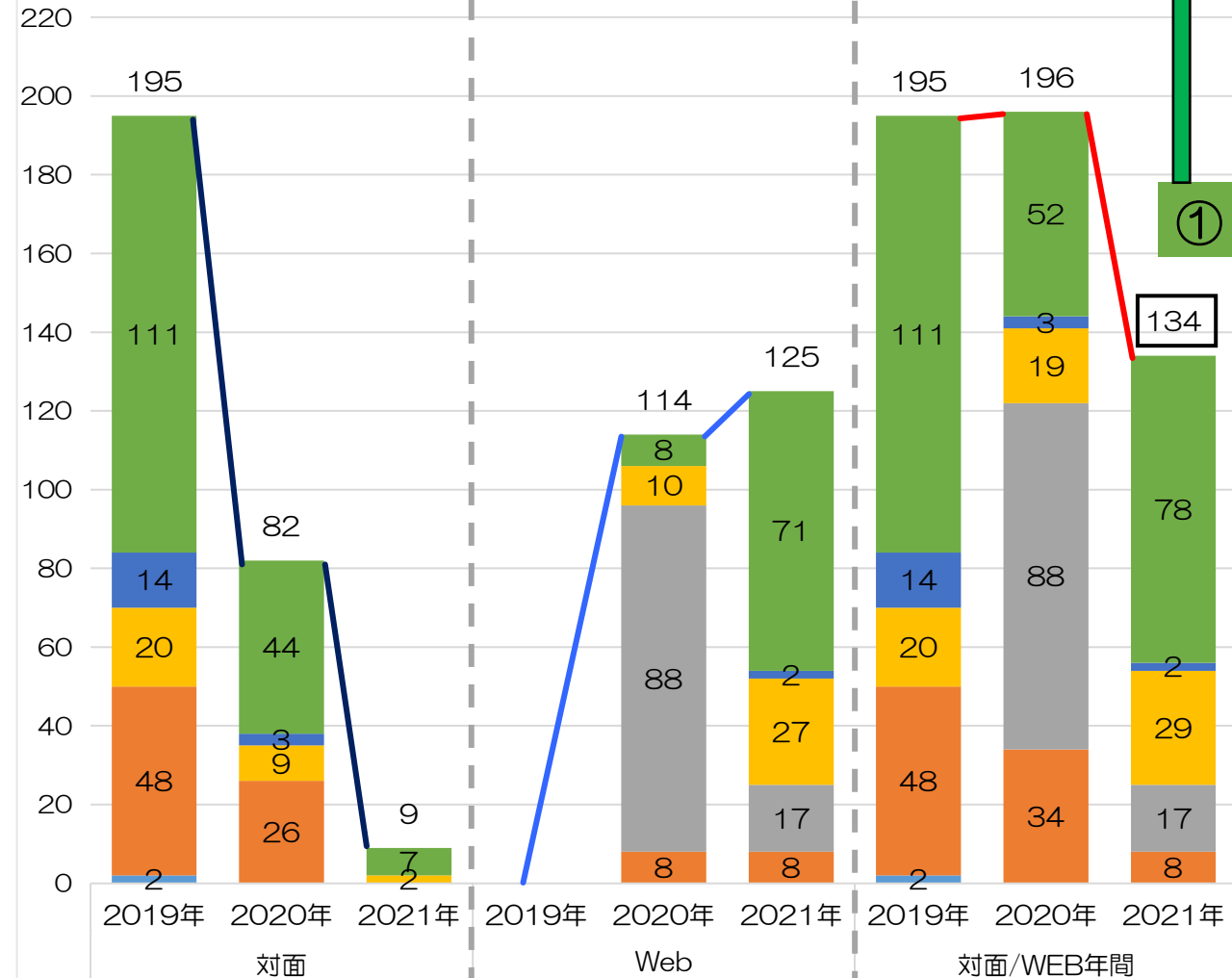


会員数/部会の割合



会議所活動の変化

<イベント回数>



- 工場・農場見学
- 会員企業主催のWEBセミナー
- 昼食会、新年会/忘年会、歓迎会/送迎会等
- 対面行事数
- 年間行事数
- 会議所外との交流、セミナー等
- 総会、理事会、ステコミ、監事会等
- 委員会/部会活動
- WEB行事数

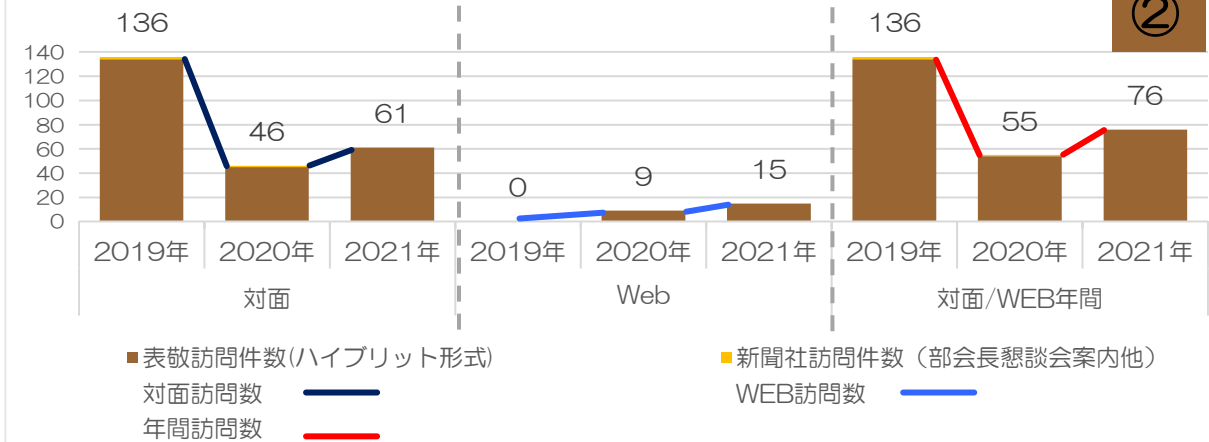
①のグラフ：20年は、対面でのイベントや情報交換が著しく制限されたので、YouTubeやオンラインによる様々な情報提供（法律事務所やコンサルタント企業を中心に自発的なWebセミナー開催）を促進した為19年レベルを維持。21年は定款を改定し委員会・部会主導による活動形態にシフト、本来の会議所活動が徐々に回復基調にある。（一方、会議所外との交流やセミナーは激減のまま）

②のグラフ：日伯政府機関や会員内外企業などからの会議所訪問数は20年に対面やハイブリッド環境下を整えても激減、21年は徐々に増加傾向。

③のグラフ：HPを21年6月20日からWPに移行中のため、年間のホームページビュー数が例年の4～50万レベルから半減以下に激減。アクセスの80%は日本。

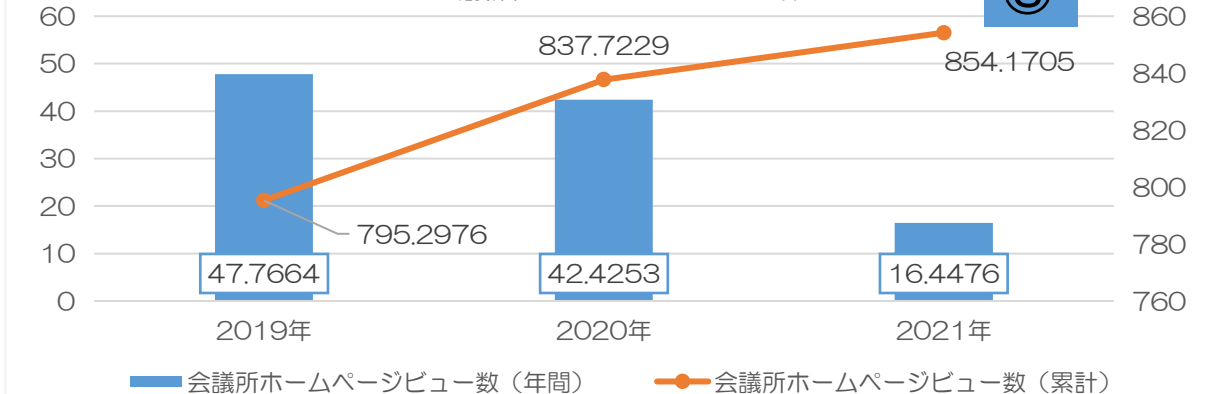
<訪問数>

訪問数の変化



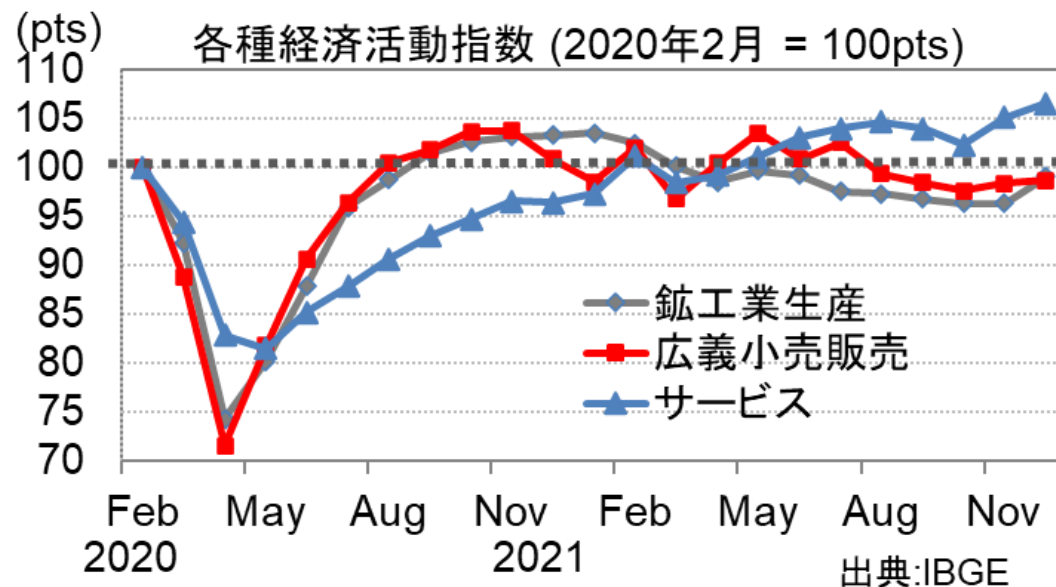
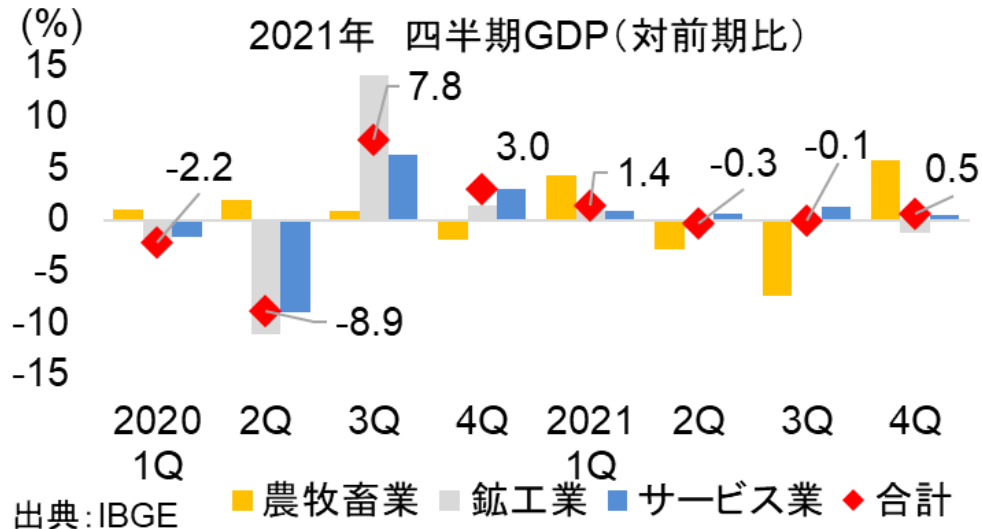
- 表敬訪問件数(ハイブリット形式)
- 対面訪問数
- 年間訪問数
- 新聞社訪問件数(部会長懇談会案内他)
- WEB訪問数

会議所ホームページビュー数 <万>



2) ブラジル経済環境

コロナ下における経済回復(GDP)



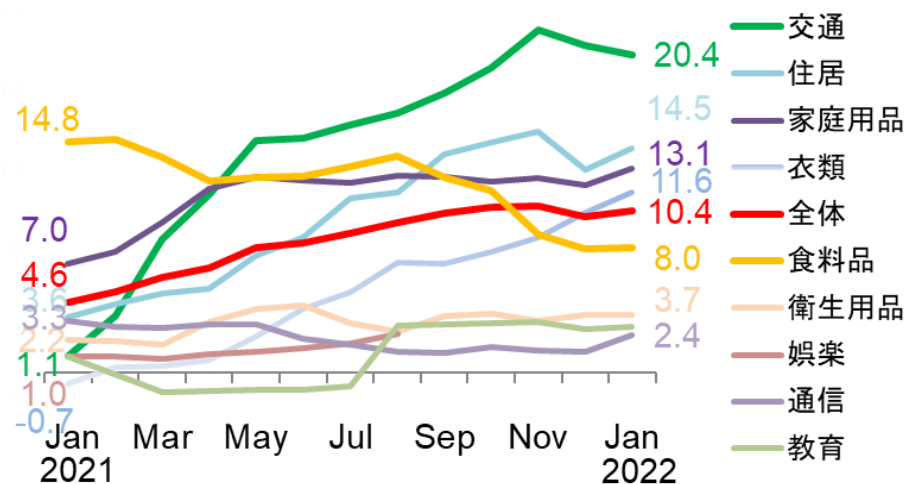
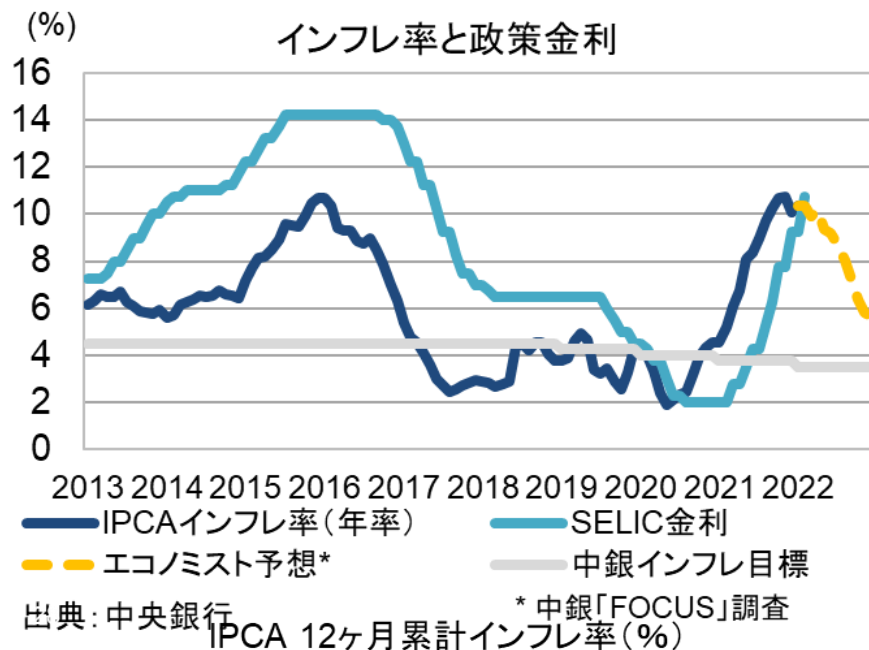
2021年GDP

産業構成及び成長率(対前年比)

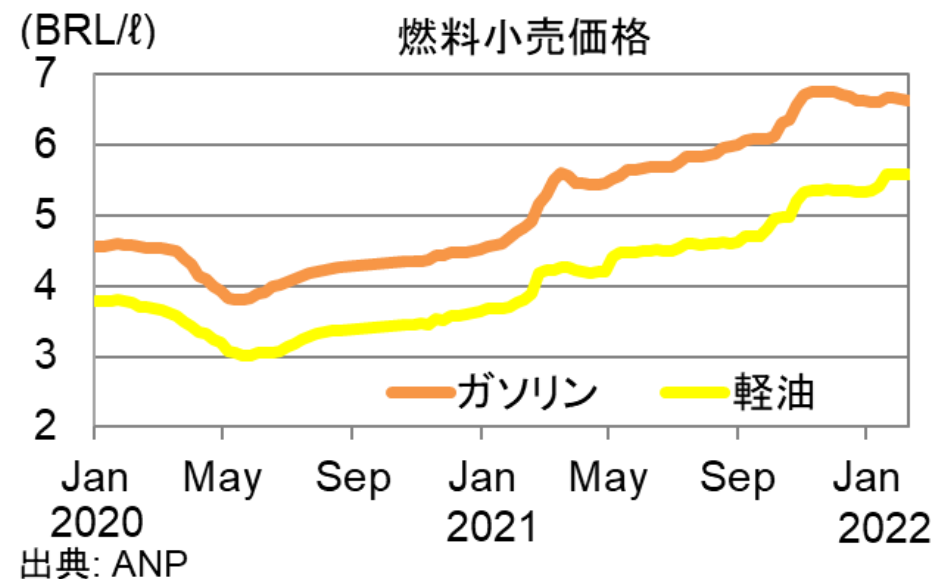
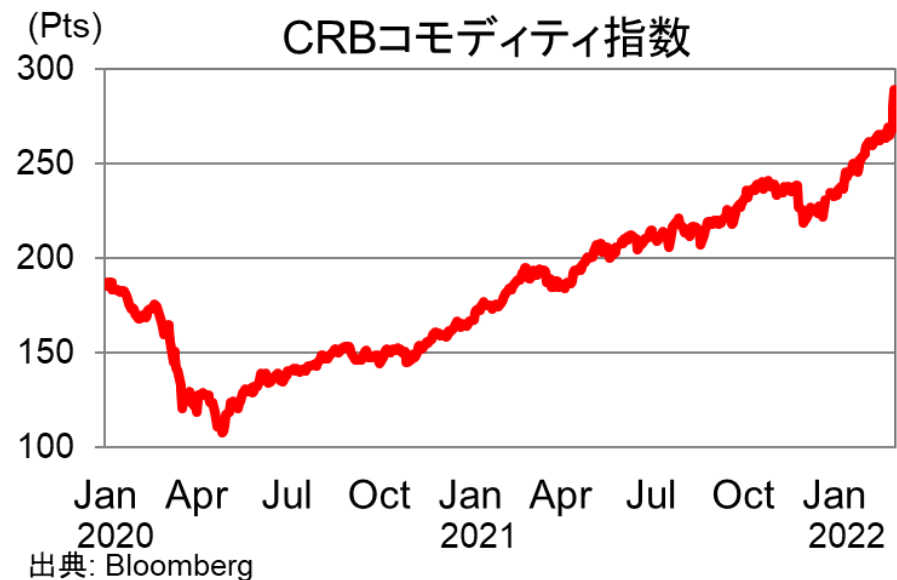
	構成比	成長率
全産業	100%	4.6%
農牧畜業	7%	-0.2%
鉱工業	19%	4.5%
鉱業	5%	3.0%
製造業	10%	4.5%
電気・ガス・水道等	2%	-0.1%
建設業	2%	9.7%
サービス業	59%	4.7%
商業	13%	5.5%
輸送業	3%	11.4%
情報通信	3%	12.3%
金融	5%	0.7%
不動産	8%	2.2%
その他サービス業	13%	7.6%
公共サービス	14%	1.5%
税金	15%	6.4%

出典: IBGE

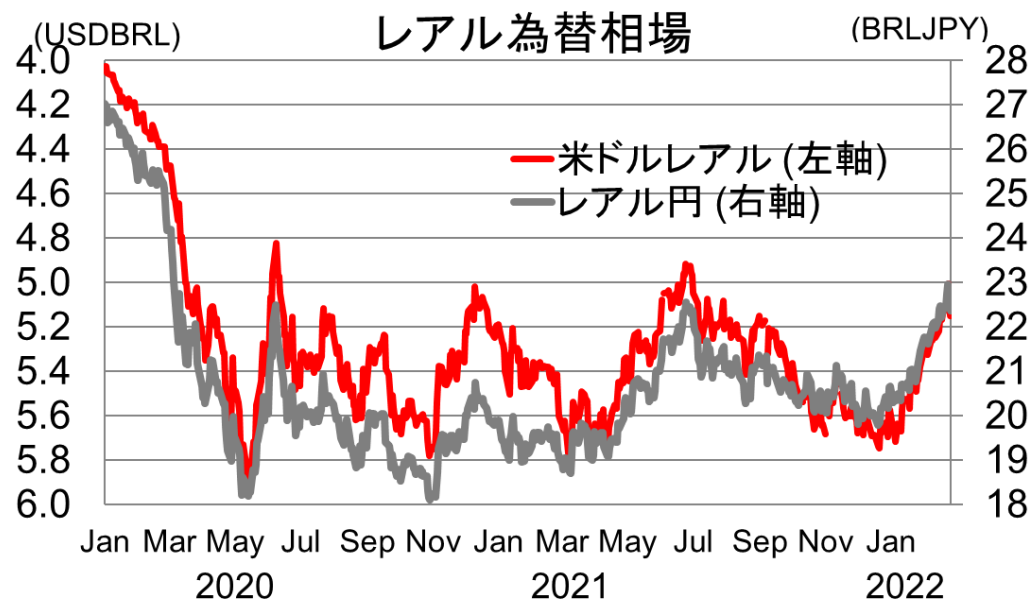
インフレの状況



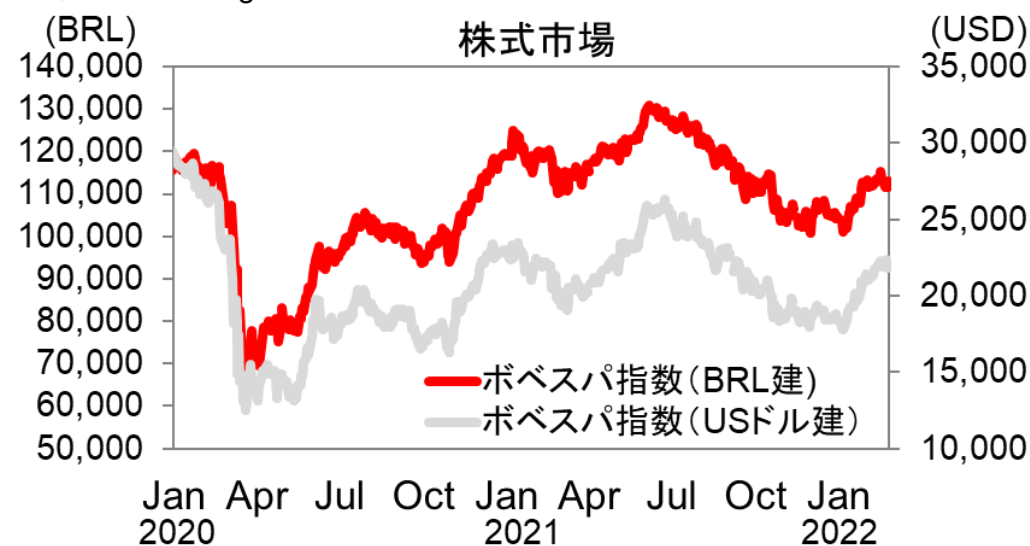
出典: IBGE



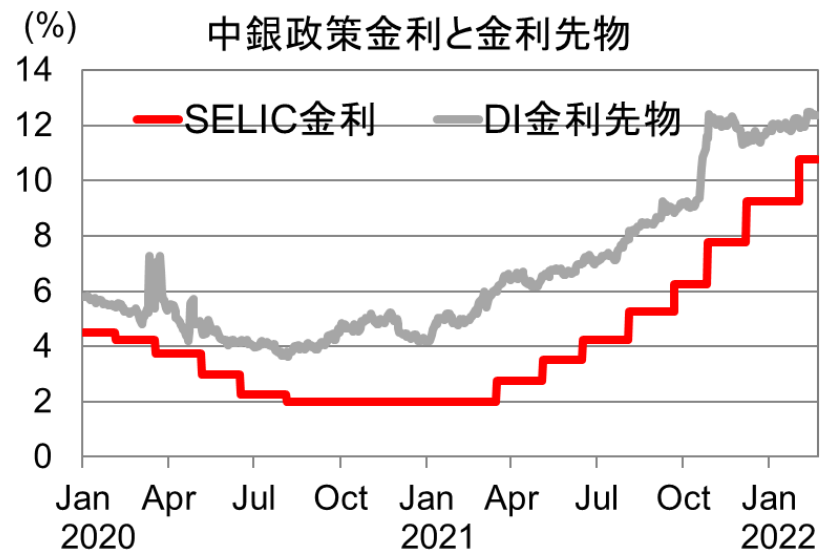
マーケット動向



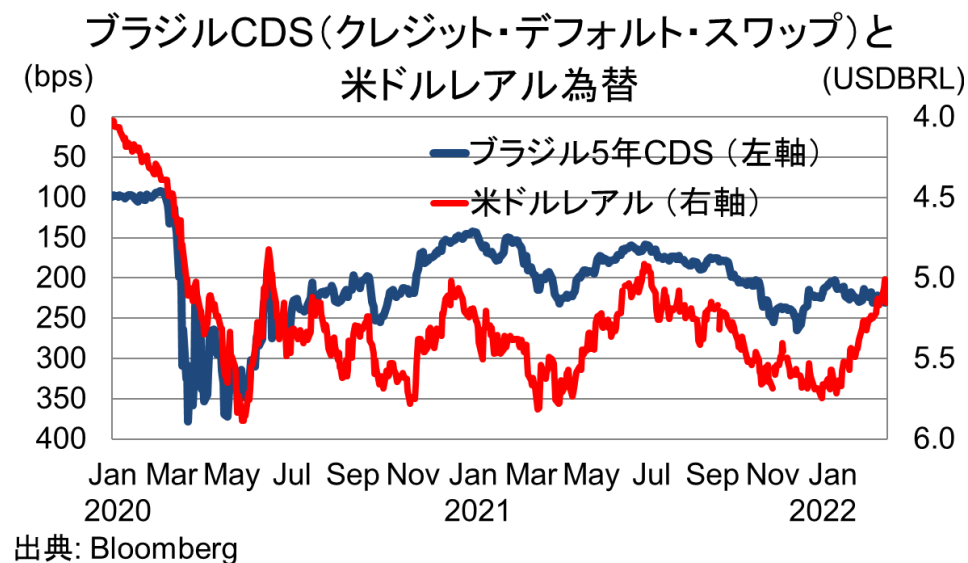
出典: Bloomberg



出典: Bloomberg



出典: Bloomberg



出典: Bloomberg

3) 各種業界の動向や特徴

□ 自動車部会



□ 生活産業部会(建設)



Fonte: Site CCIJB

□ 運輸サービス部会



□ 食品部会



□ 機械・金属部会



Fonte: Site Komatsu

□ 化学品部会



□ 電機・通信情報部会



Fonte: Site Nec
Latin America S.A

3)各種業界の動向や特徴

＜自動車部会＞

- ・四輪については、コロナからの回復が見込まれたものの、半導体供給不足の影響により、製造、販売ともに対前年比横ばい(212万台)。二輪については対前年比120%増。
- ・中古車市場は18年レベルに回復(1,124万台)。価格も高騰。
- ・2022年は引き続き半導体不足の影響が残り、国内販売は230万台の見込み(8%増)。為替、インフレを懸念。

【今後の課題・日本政府への要望等】

- ①半導体供給、資材高騰、②不透明な税制改革、Ex-Tariffb(部品)、LETEC(自動車)の恩典削減、③環境規制(Rota2030)、④脱炭素(RNE2050、EV化)、⑤他国に劣後しないFTAの確保。



＜運輸・サービス部会＞

- ・海運:ブラジルのコンテナ数量は輸出入ともに過去7年間で最高を記録。北米等の港湾混雑の影響により回転効率が悪化(キャバ30%低下)。サプライチェーンの混乱は改善せず。
- ・航空貨物:需要は引き続き堅調(対前年比18.7%増)。海運ひっ迫による航空貨物へのシフトから引き続きタイト。コロナによる乗員等人手不足、燃料費高騰が課題。
- ・旅行・ホテル・航空旅客:国内を中心に対前年比では回復。他方、国際便については水際対策により厳しい状況。

【今後の課題・日本政府への要望等】

日本の水際対策により日系国際旅客は他国に比べ回復遅れ。一刻も早い入国規制の緩和を求める。



3)各種業界の動向や特徴

＜機械・金属部会＞

- ・全般:2021年の後半から鉱工業生産・土木建設指数は陰りを見せるも、会員企業の多くは同年前半のペースをそのまま維持、2022年も同傾向が続く他、設備投資も期待大きい。
- ・紙パルプ業界は宅配(梱包資材)需要により好調を継続。工場用設備・制御機械は輸入クレーン需要、パルプ、鉄鋼、化学工場向け制御機器が好調。建設機械は国内販売増。

【今後の課題・日本政府への要望等】

- ①政治リスク、②インフレ・金利上昇、③サプライチェーン(生産資材の調達難、価格高騰、物流費用増加、貨物運送の遅延)、脱炭素化対応(再生エネルギーの動向、装置産業・製造業のカーボンニュートラルへの取組)、製造現場・生産設備のデジタル化、リモートオペレーション。



Fonte: Site Komatsu

＜電気・通信情報部会＞

- ・2021年下期は上期より維持・改善、2022年も同じ展望。2022年の縮小要因は半導体不足による材料逼迫・高騰。コロナ再拡大による工場操業、ロジへの悪影響。インフレ高進・金利高。
- ・経営優先課題は、営業拡大、損益改善、コストダウン、人材育成、商材開発
- ・With/Afterコロナ対策は、テレワーク体制継続・推進・ハイブリッド対応
- ・OTセキュリティの検討・導入が加速化し、5G導入でIoT市場の更なる拡大が期待

【今後の課題・日本政府への要望等】

- ①日本-メルコスール間のEPA交渉の促進、②財政不安の払拭、③政治の安定化、④各種改革(税制・民営化等)の加速、⑤為替安定化施策の実行、⑥現地生産基準(PPB)の見直し、⑦ブラジル特有のビジネス上対応すべき点の発信



Fonte: Site Nec Latin America S.A

3)各種業界の動向や特徴

＜食品部会＞

- ・小売市場97%、外食市場115%超と前期比で回復基調の一方、為替、原料価格上昇、物流費高騰が懸念。
- ・景況感悪化、低価格志向、客単価減傾向に加え、チャネル等の構造変化への対応が必要。
- ・原材料・包材原料高騰、供給リスク、コンテナ不足に伴うFreight昇等、物流コスト増に注意。
- ・SDGs等の取組みと連動し、“オーガニック”、“エシカル”、“サステナブル”に注目。
- ・コロナによる健康意識の高まりにより、健康価値強化、高品質化による客単価増に期待。
- ・Eコマース拡大、販売におけるIT/オンライン活用、消費者コミュニケーション強化に対応。
- ・フードロス、プラ、CO2削減、地域コミュニティへの貢献まで、持続可能な発展への貢献。



＜生活産業部会＞

- ・**建設関連**: 需要堅調も、資材価格上昇、コロナ対応経費増が利益を圧迫。建設資材の価格上昇・品不足懸念あり。感染予防による工事現場での衛生・安全確保が重要。
- ・**不動産関連**: <賃貸>家族帯同増、今後は新築供給増で価格は高止まり～若干低下か。
<売買>金利上昇により回復は緩やかで、今後は新規建設がピークアウトの見込み。
- ・**繊維関連**: 綿花相場の国際相場上昇、リアル安、また自動車・航空機用途が大幅減。
衣料品の価格転嫁は限界で利益は減少傾向。ブラジルは”better cotton”準拠。
- ・**エネルギー関連**: ガス燃料コジェネレーションは停滞も、分散電源法で太陽光発電事業は増加。電力自由市場(SDGs/ESG関連)におけるバイオガス、バイオマス等の拡大に期待。



Fonte: Site CCIJB

【今後の課題・日本政府への要望等】

為替、金利高、市況高騰(原料高騰)、物流費高騰、品不足への対応

3)各種業界の動向や特徴

＜化学品部会＞

- ・国内需要堅調に加え、ドル建て販売・輸出増による売上増もあり、化学業界の業績は好況が継続。
- ・懸念は、半導体不足による自動車生産水準回復遅延、レアル安による原材料コスト上昇及び調達困難、物流混乱・輸送コスト上昇、インフレ懸念、価格転嫁が難しい状況等。

【今後の課題・日本政府への要望等】

＜検討事項＞日本のカーボンニュートラル政策にブラジルの活動を通じて貢献できないか。

- ①ブラジルへの事業移転で再エネ利用に代わる分CO2排出量削減、②グリーン証明書購入、③部分的IPP事業に参加、等

＜課題＞カーボンニュートラル実現に対する要請に対して、企業はどこまで応えるべきか。

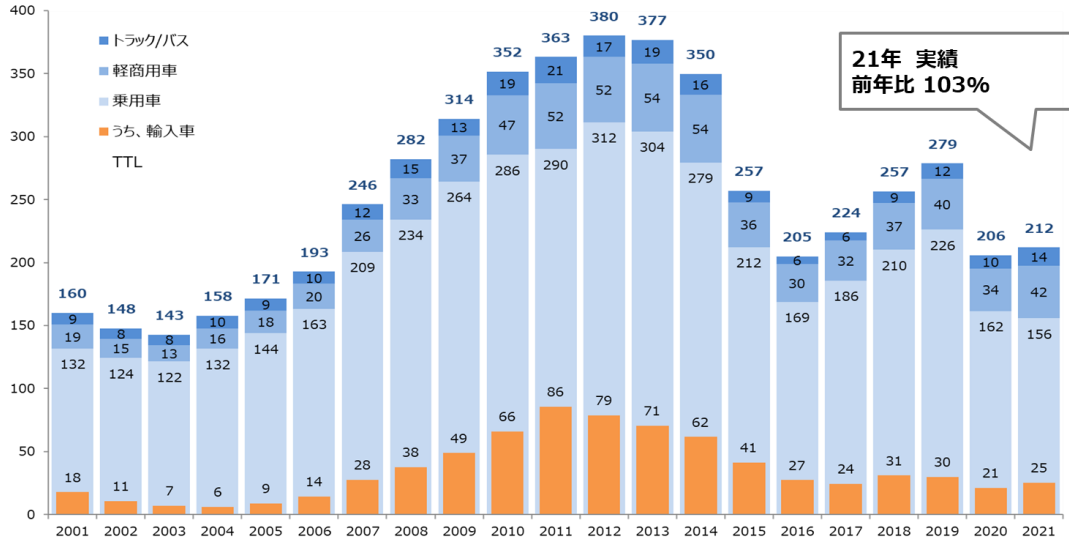


4) 取り巻く環境(業界別データ)

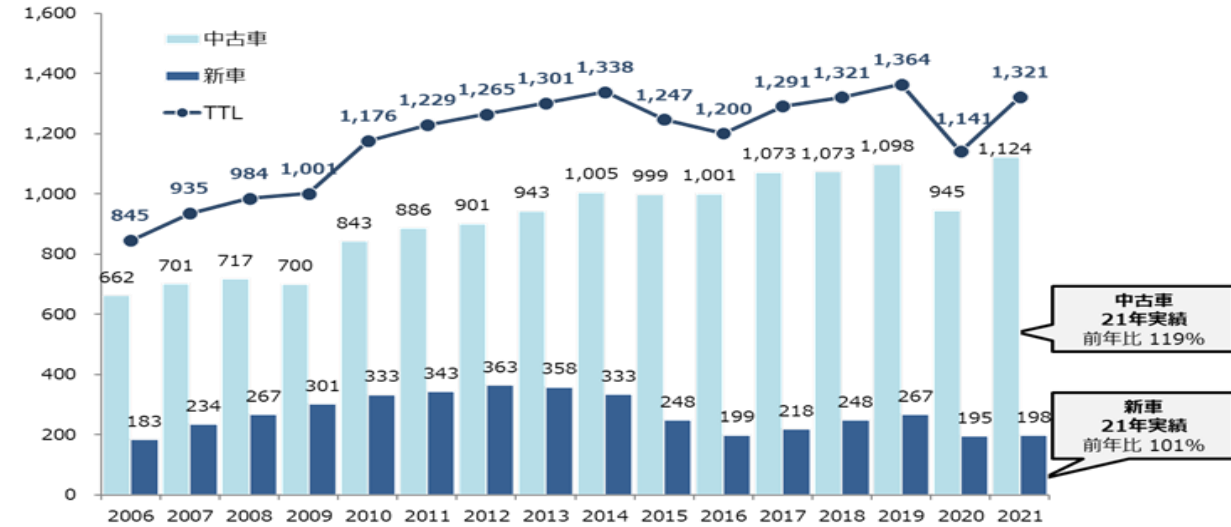
自動車・運輸関連

出典: ANFAVEA

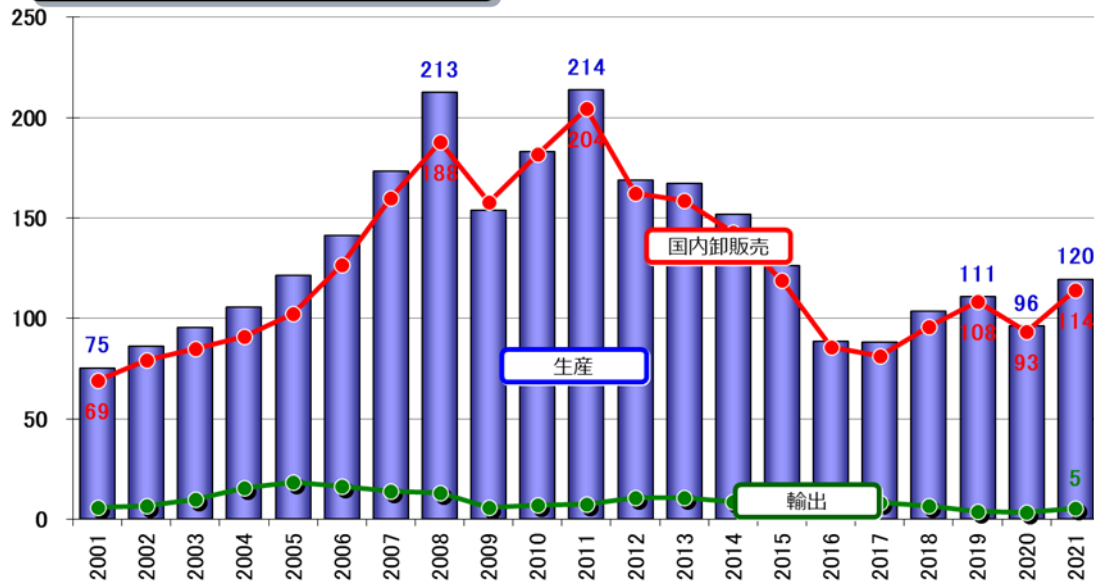
自動車販売台数推移



自動車 中古・新車販売台数

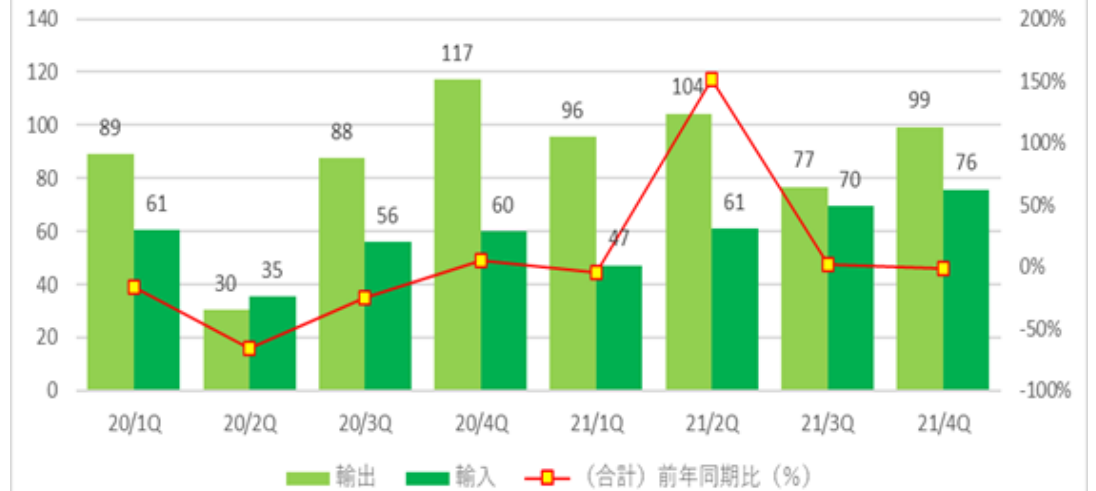


二輪車 生産・販売 推移



ブラジル完成車輸出入台数推移

(単位: 千台)

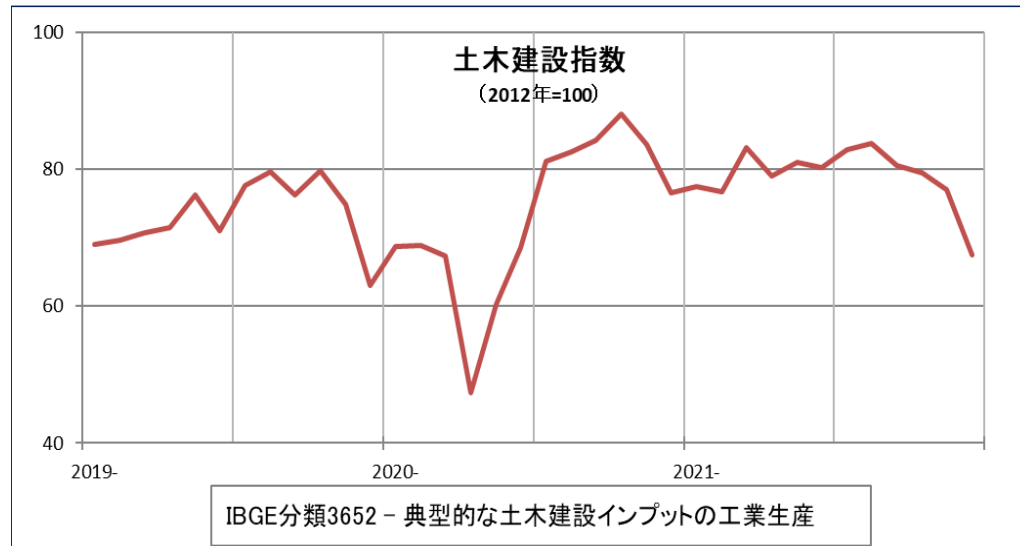


機械金属関連

ブラジル鉱工業生産

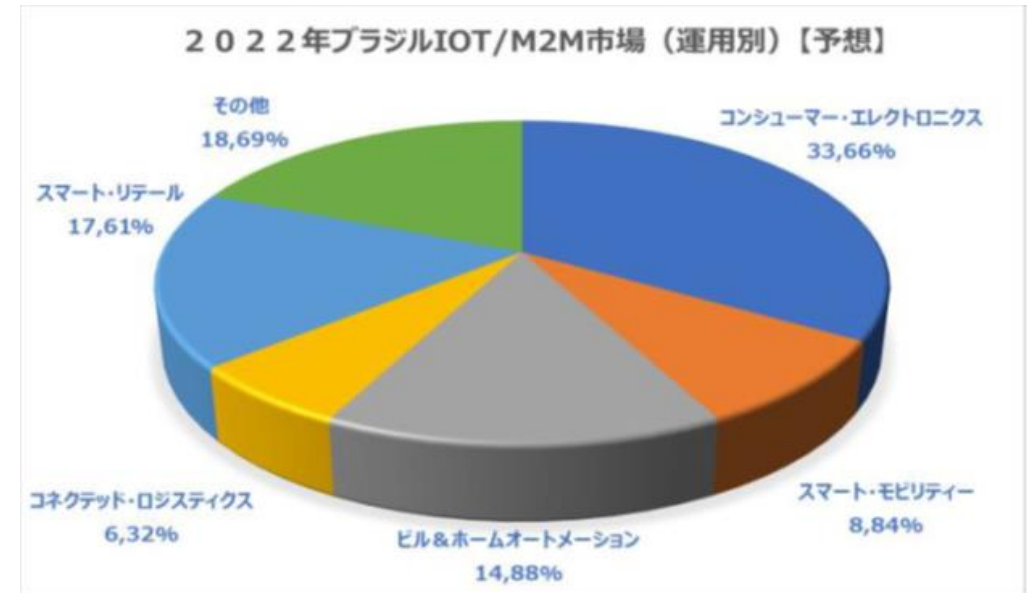


(出典:IBGE)



(出典:IBGE)

電機・通信情報(IoT)関連

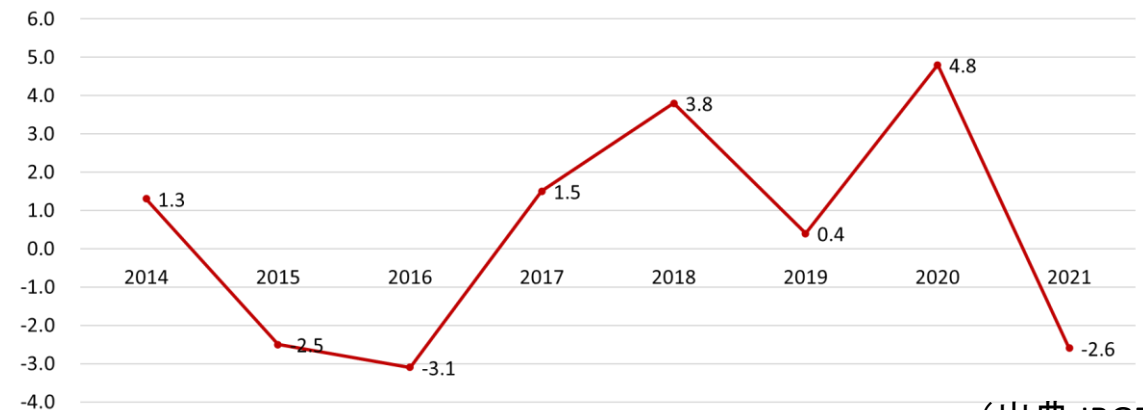


(出典: TechSci Researchレポート

<https://www.teletime.com.br> <https://br.korewireless.com>)

食品関連

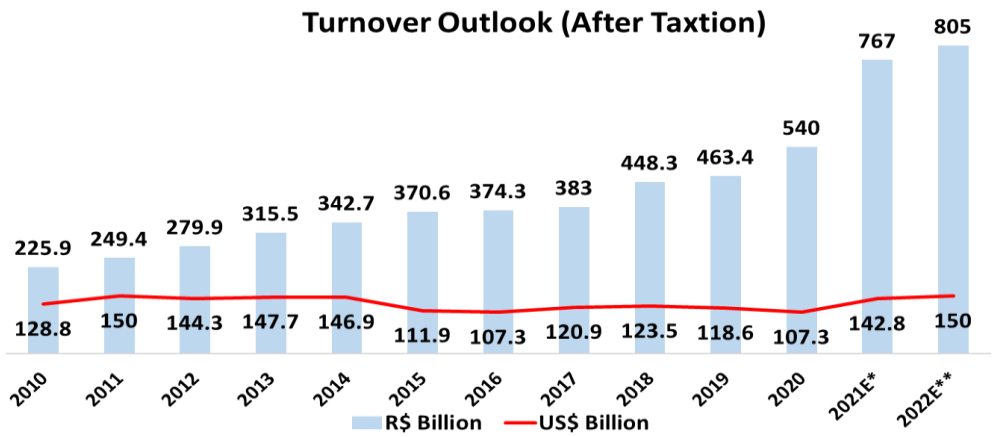
スーパーマーケット 販売数量前年増減 (%)



(出典:IBGE)

化学品関連

2020 Brazilian Chemical Industries Performance.



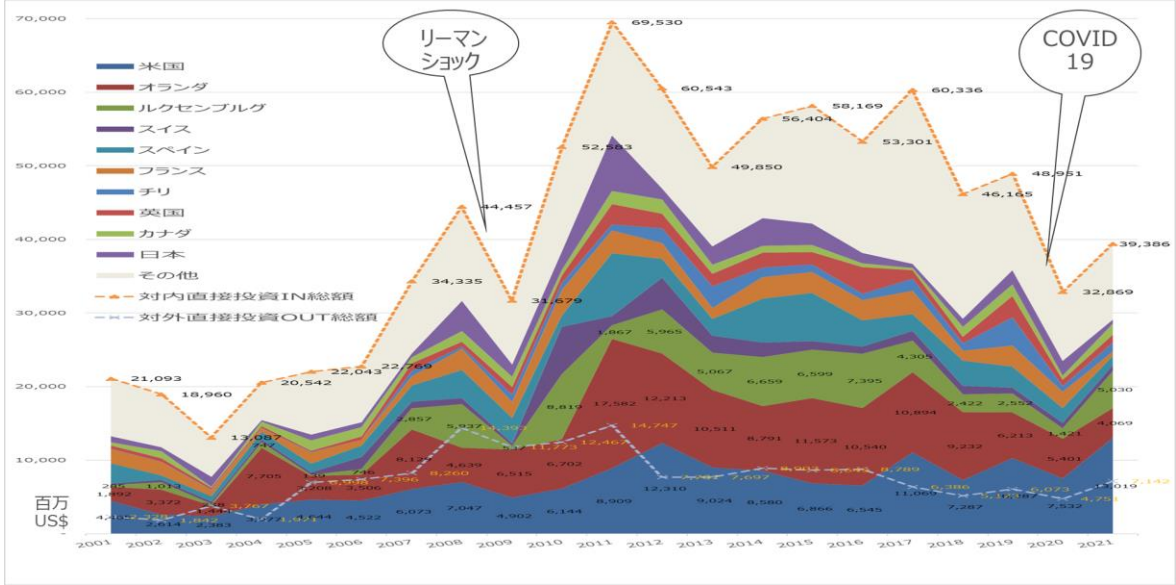
** 2022/2021 Turnover Growth E: +5%.
US\$ Rate E: BRL 5,37

Global Raw Material Price increased drammatically in 2021 by achieving +33% turnover growth result estimation vs 2020.

Source: ABIQUIM

貿易関連

対ブラジル直接投資動向(2021年12月迄)



主要輸出商品の相手国、輸出金額 (USD百万) 19-21年推移

鉄鉱石					大豆				
国	2021年		2020年		国	2021年		2020年	
	順位	金額	前年比伸び率	順位		順位	金額	前年比伸び率	順位
中国	1	28,364	58%	1	中国	1	27,208	30%	1
マレーシア	2	2,780	64%	2	スペイン	2	1,665	74%	3
バーレーン	3	1,794	232%	6	タイ	3	1,289	41%	4
日本	4	1,335	71%	3	オランダ	4	1,199	8%	2
オマーン	5	1,251	117%	4	トルコ	5	1,015	41%	5
オランダ	6	876	56%	5	パキスタン	6	694	67%	6
韓国	7	700	65%	7	イラン	7	561	128%	10
フィリピン	8	617	159%	9	ベトナム	8	554	131%	11
トルコ	9	575	47%	8	メキシコ	9	547	90%	9
フランス	10	510	167%	10	台湾	10	533	59%	8

鉄鉱石国際価格 (USD/DMTU)

2021年		2020年	2019年
年平均	前年比伸び率	年平均	年平均
161.71	48.47%	108.92	93.85

大豆国際価格 (USD/トン)

2021年		2020年	2019年
年平均	前年比伸び率	年平均	年平均
583.32	43.45%	406.64	368.95

石油 (原油)

国	2021年		2020年		2019年	
	順位	金額	順位	金額	順位	金額
中国	1	14,252	26%	1	11,346	1
アメリカ	2	3,079	127%	2	1,359	2
インド	3	2,244	83%	3	1,224	4
チリ	4	1,964	208%	6	637	3
ポルトガル	5	1,633	79%	5	911	8
韓国	6	1,462	145%	7	597	16
オランダ	7	1,212	120%	9	551	7
スペイン	8	1,087	4%	4	1,044	5
シンガポール	9	1,010	72%	8	586	9
マレーシア	10	795	68%	10	474	10

原油価格 (USD/バレル)

* WTI、ドバイ、ブレン트의平均

2021年		2020年	2019年
年平均	前年比伸び率	年平均	年平均
69.07	67.41%	41.26	61.41

粗糖 (砂糖)

国	2021年		2020年		2019年	
	順位	金額	順位	金額	順位	金額
中国	1	1,409	11%	1	1,271	5
アルジェリア	2	776	16%	2	669	1
ナイジェリア	3	598	37%	6	438	3
バングラデシュ	4	575	-8%	3	628	2
マレーシア	5	429	12%	8	383	16
カナダ	6	427	61%	12	265	12
サウジアラビア	7	427	15%	9	370	4
モロッコ	8	399	0%	7	401	8
インドネシア	9	354	-24%	5	466	92
エジプト	10	317	25%	13	254	10

砂糖価格 (USD/Kg)

2021年		2020年	2019年
年平均	前年比伸び率	年平均	年平均
0.39	37.59%	0.28	0.28



チャレンジする会議所

Câmara que desafia

ありがとうございました

... e como uma Câmara que desafia,